

## 救急部門

- 研修責任者 渡辺慎太郎(内科、循環器科)  
福島 栄 (内科、腎臓)

- 研修目標

当院は一次・二次救急指定病院であり、地域基幹病院として、2.5 次的救急業務を積極的に実施しています。平成 27 年度の救急患者収容総数は月平均で 1,108 件(うち救急搬送数は 304 件)に及びます。救急専従医はならず、時間内は各科救急当番医が対応し、時間外は内科系当直 1 名、外科系当直 1 名が担当しています(その他、時間外は全科オンコール体制、産婦人科・精神科宅直医各 1 名)。救急センター研修は救急全般にわたる充実したプライマリーケア習得を目標とし、各科当番医の直接指導によりBLS・ACLSに積極的に参加し、時間内に来院された救急患者の初療を中心に行います。決して救急雑務に追われることのないように、指導医に守られて、のびのびと緊張感を持って、広い視野から系統的に救急医療の修練を行えるように配慮しています。

- 行動、経験目標

他の臨床研修と同様、各科マンツーマン指導のもとで、個々の救急診療にあたることを原則とします。軽症から重症まで豊富な症例を経験することで、実践の中から広く救急診療を勉強することができます。気管挿管や心マッサージなども数多く経験してもらいます。救急医療における適切で迅速な処置、検査、治療方法についての基本的な考え方はきわめて重要であり、すべての診療分野に共通するものです。救急チームの一員として、指導医や救急看護師などと連携し、現場の汗と努力の中からしっかりと学び取ってほしいと思います。

- 研修スケジュール

時間内(午前 8 時 30 分から午後 5 時まで)に救急センターに来院したすべての患者のプライマリーケアを各科担当指導医とともに実践することを原則とします。ただし、一度に複数患者が来院した場合などは研修内容を重視し、特定の患者において時間をかけ、深く病態、管理方法、およびミスのない診療システムなどを勉強することを原則としています。自由度の高いプログラムは救急部門も同様であり、それぞれの研修医の希望に沿ったオーダーメイドの研修内容に努めています。

なお、時間外救急業務は時間内救急センター研修とは別に、外科系・内科系研修期間中、指導医とともに月 3 回程度の各科における日直または当直業務が計画されています。

月一回の救急委員会(病院全職種や医師会の先生、市の救急隊員などから構成され、毎月の救急関連データをもとに救急業務の改善を検討)に出席の上、救急医療の現場から、自身の目を通して、とらわれることのない新鮮な意見をもって討論に参加していただければ幸いです。